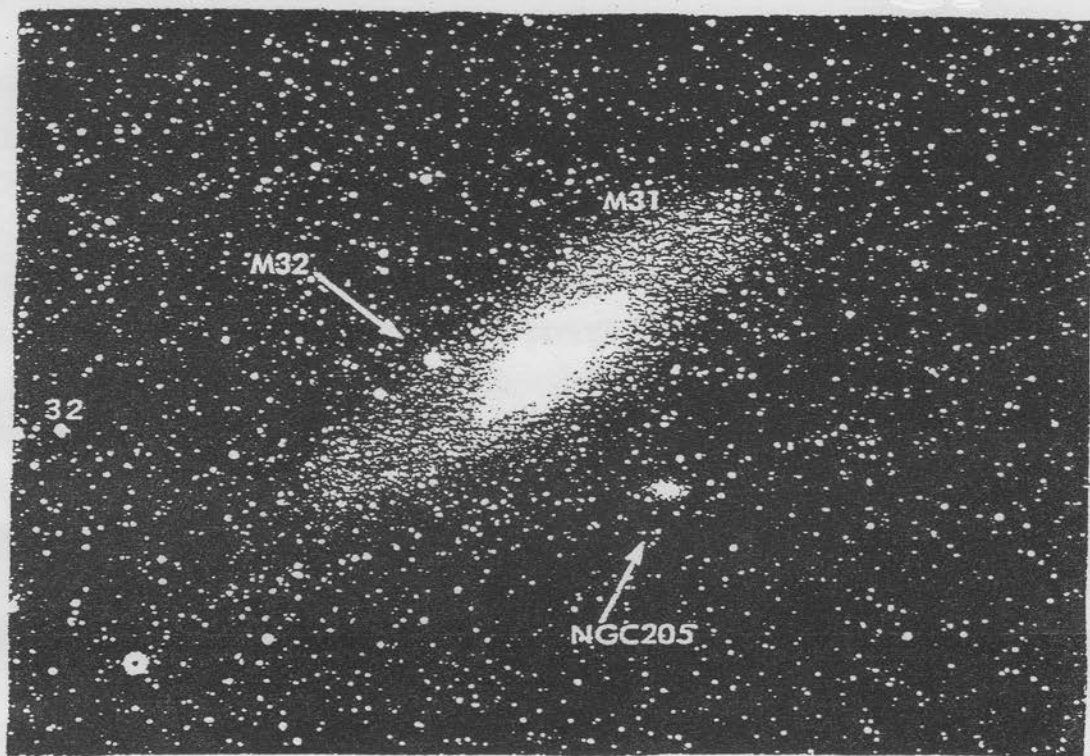


星屑



8

Aug. 1989

Vol. 174

「第2回 九州スターフェスタ 星の降る夜 I N 清和」のほうこく

A r i

今年も上益城郡清和村の井無田高原に於て、「第2回 九州スターフェスタ 星の降る夜 I N 清和」が8月5日から6日にかけて行われましたので、このことについて簡単に報告したいと思います。

今年のメインテーマは、「最遠の惑星を見よう！」と言うことで、現在最遠の惑星である海王星（この星屑が届く頃には、ボイジャー2号からの素晴らしい写真が届いてると思います）を見ようと言うものでした。

11時に天文台を出発して井無田に着いたのは、昼過ぎでした。途中、矢部町から、また、井無田高原に登る道にも多数案内板がでており、昨年に比べ会場への道が大変解りやすかったと思います。会場である朝日小学校には、清和村役場の方々に依ってすでにテントが張ってありました。

私達が到着した頃には晴れていた空も受付が始まる頃には雲に覆われており、当夜の事が心配されましたが、清和村の人の話では、いつも昼過ぎには曇るけれども夜には晴れると言う事なので一安心（開会式の始まる1時間位前にはすでに昨年の参加者数をはるかに超えていたので、多少の不安もありましたけど）しました。今年から新たに登場した売店には、池永さんデザインのTシャツを始めとする星グッズが多数並べられ、夜中まで大変にぎわってました。夕食には、昨年同様カレーライスやまぜご飯、豚汁等でしたが、肉や野菜がふんだんに使っており、大変おいしくいただきました。この食事の売店には、長い列が1時間近くできていました。

予定の19時より少し遅れて、熊本県民天文台台長、清和村村長の挨拶で「第2回 九州スターフェスタ 星の降る夜 I N 清和」が始まりました。まず、景品の抽選会に始まり、オークションと続いていくうちにそれまで雲に覆われていた空も次第に雲が切れ始めたので、望遠鏡の担当であった私は、慌てて望遠鏡のセッティングに取り掛かりました。私達が望遠鏡をセッティングしている間、本部の方ではオークションに続き、矢部アナウンサーの生語りによる「銀河鉄道の夜」などのスライド上映が行われており、博物館のプラネタリウムで

見るものとはひと味違ったものでした。また、昨年に続き長崎からは「とみた」さんが来られ、自慢の 50 cm ドブソニアンを組み立てておられました。そうこうしているうちに望遠鏡の回りには人が集まり始めたので、私の担当であった海王星に望遠鏡を向け、いよいよ仕事の始まりとなりました。今年は、海王星をはじめとして、天王星、土星、星雲・星団、流星、そして「あじさい」が観望の対象でした。お客さんの反応としては、今年のメインテーマである海王星は土星みたいに輪が見えるわけではなく、また、点像にしか見えないため、土星を見たときほどの感動がなかったように思われます。それでも、最遠の惑星であり、ボイジャーの向かっている（この原稿を書いている時には、もう通り過ぎてしまっていますが）惑星と言うことで長蛇の列ができ、終了予定の 23 時を過ぎてても大変にぎわっていました。途中、雲でいて座付近が全く見えなくなることはありましたが、そこはふだん運営で鍛えられているおかげで、星雲や星団に望遠鏡を向けて間をつなぐことは容易でした。

夜も更けて人の数も減り、一息ついた頃、昨年は触ることしかできなかった「とみた」さんの 50 cm ドブソニアンをのぞきにきました。見に行ったときは、ちょうど M 31 が入っていたのですが、さすがに口径が大きいだけあって集光力はすごく、大変迫力がありました。

午前 1 時をまわり、2 時をまわる頃にはさすがに人の数も減ってきたので、スタッフでワイワイと星雲や星団を見て楽しみました。また、熱心な方や清和村役場の方、それに子供をトイレに連れて行く途中の親子など、時々、お客さんが望遠鏡をのぞきに來られたりもしました。結局、星雲・星団、プロルセンメトカーフすい星、木星、黄道光（清和村では黄道光が大変よく見えます）などを楽しみながら朝まで過ごしてしまいました。

すっかり明るくなった頃、ラジオ体操が始まり、そして閉会式までの間、清和村でとれた野菜たっぷりの健康的な朝食をいただきました。午前 8 時より閉会式が始まり、じゃんけん大会もあって、大盛況のうちに「星の降る夜 IN 清和」は終了しました。

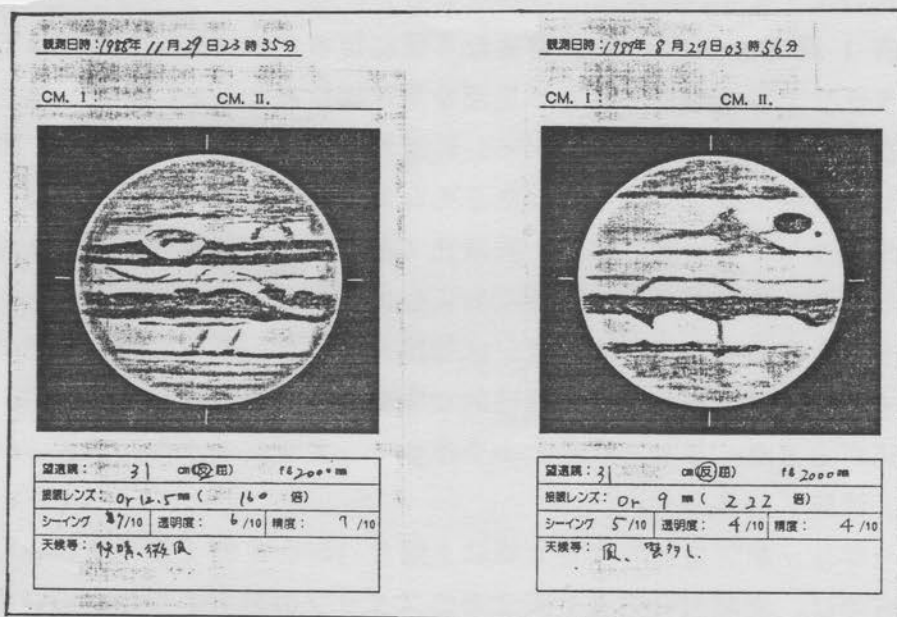
今年は、参加者は昨年を大幅に上回り 1000 を軽く超えていました。今年の大成功は、清和村の方々や天文台のスタッフの努力の賜だと思います。本当にご苦労様でした。来年もきっと大成功させましょう。

速報！ 木星面に異常！

松崎 達二

最近になって木星がようやく明け方の空に姿を見せるようになってきました。昨年は、年の後半に木星面では大赤斑の濃化が進んでいました。それで今年はその濃化がどう進んでいるかたいへん楽しみにしていたのですが・・・・。いざ今年になってその木星面を見てみると、それ以上に驚くことが起こっていました。普段なら2本見える太い縞が1本ない！（実際は淡化しているだけで一応あるのですが・・・・。）2本のうちの南赤道縞の方が何かの原因で淡化現象を起こしてきているんです。これは昨年の大赤斑の濃化ともしかしたら関係しているのかも。またよくいわれる南赤道縞攪乱の前兆かも。

まあ、とにかく非常に興味深い現象であることは確かです。ということで、下に吉田さんのスケッチをのせておきます。左側が昨年のも、右側が今年のもです。見比べてみて下さい。



天文台日誌から

<6月> 来台者41人

- 6/6(火) 久しぶりにM13を見てしまった。いれるのにひと苦労でした。(松崎)
- 6/11(日) 昼は草刈とバーベキュー、夜は運営委員会(浅地)
- 6/17(土) 子供が天文台で宿題をしながらおかしを食べていた。(中島ひげ)
- 6/25(日) 昼にへんなやつらが天文台までマラソンしていた。

<7月> 来台者97人

- 7/3(月) 運営委員会とまちがえて来てしまいました。(中尾)
- 7/5(水) 「これは2つ、2つ星が見えるのでダブルダブルスターといいます。」
お客さん「ダヴルバブルスター!？」(KUNI)
- 7/7(金) セタで雲だったがお客さんが14人来台(三上)
- 7/14(金) 中三の女の子とお母さんがアイスクャンディーを差し入れ(安達)
- 7/18(火) 熊本市内、快晴のためバスで天文台まで(永井)
- 7/21(金) 「星の降る夜in清和」の賞品のList up。ほしいもの多数あり。(吉田)
- 7/30(日) 昼間、立川君と池永さんとで立派な「ハタ」を作って頂きました。(艶島)

<8月> 来台者245人

- 8/4(金) 明日、清和村で晴れるといいが。(吉田)
- 8/8(火) スライドを使って星座物語①天にとどいた竹の子
②黒仙人と白仙人(永井)
- 8/9(水) こんなにきれいな土星は初めて! 5mmでもナグラでもバッチリヨ。(KUNI)
- 8/10(木) 大阪から帰省した人が5年ぶりで土星を見たと喜んで下さった。(長谷)
- 8/12(土) ベルセ群、例年なみか? やや少なかったもよう。(中島)
- 8/16(水) 昼間、松橋の県宇城事務所から6名見学有(艶島)
- 8/23(水) 今日は石原さん手製のカレーライス。最高!(芳野)
- 8/29(火) 熊本のビール会・・・いいな!!
月曜と休台日以外にはしないで下さい!!(中島)

天文台日誌から

<6月> 来台者41人

- 6/6(火) 久しぶりにM13を見てしまった。いれるのにひと苦労でした。(松崎)
- 6/11(日) 昼は草刈とバーベキュー、夜は運営委員会(浅地)
- 6/17(土) 子供が天文台で宿題をしながらおかしを食べていた。(中島ひげ)
- 6/25(日) 昼にへんなやつらが天文台までマラソンしていた。

<7月> 来台者97人

- 7/3(月) 運営委員会とまちがえて来てしまいました。(中尾)
- 7/5(水) 「これは2つ、2つ星が見えるのでダブルダブルスターといいます。」
お客さん「ダブルバブルスター!？」(KUNI)
- 7/7(金) 七夕で雲だったがお客さんが14人来台(三上)
- 7/14(金) 中三の女の子とお母さんがアイスクャンディーを差し入れ(安達)
- 7/18(火) 熊本市内、快晴のためバスで天文台まで(永井)
- 7/21(金) 「星の降る夜in清和」の賞品のList up。ほしいもの多数あり。(吉田)
- 7/30(日) 昼間、立川君と池永さんとで立派な「ハタ」を作って頂きました。(艶島)

<8月> 来台者245人

- 8/4(金) 明日、清和村で晴れるといいが。(吉田)
- 8/8(火) スライドを使って星座物語①天にとどいた竹の子
②黒仙人と白仙人(永井)
- 8/9(水) こんなにきれいな土星は初めて! 5mmでもナグラでもバッチリヨ。(KUNI)
- 8/10(木) 大阪から帰省した人が5年ぶりで土星を見たと喜んで下さった。(長谷)
- 8/12(土) ベルセ群、例年なみか? やや少なかったもよう。(中島)
- 8/16(水) 昼間、松橋の県宇城事務所から6名見学有(艶島)
- 8/23(水) 今日は石原さん手製のカレーライス。最高!(芳野)
- 8/29(火) 熊本のビール会・・・いいな!!
月曜と休台日以外にはしないで下さい!!(中島)

☆

9月上旬...午後9時増

9月下旬...午後8時頃



第一條

☆ 2等星

○ 3年星

- 4等星以下

庫



とく。

天のモノサシへガスス君。

北極星もわか、ちゅうし。

春分点もわからちゃうし

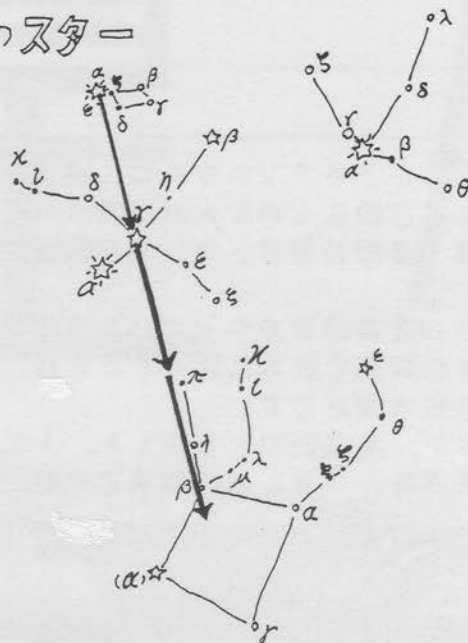
角度もわかっちゃう☆



春分点

9月のスター

ペガサス座



夏の天三角から東の地平線の方へ視線を下して行くと、大きな四角形が見えます。背中に羽を持つ馬、ペガサスです。

これから秋の星座が段々昇って来ますが、秋の星座は明るい星が少いかわりに、カシオペア座、ケフェウス座、アンドロメダ座、ハルセウス座、くじら座と、このペガサス座で、エチオピア王家の話が上手くできています。(この話は次号で。)

こと座のα星、ベガと白鳥座のγ星を結び、そのままその距離を2倍程のばすと、ペガサスの四角形(α-β-γ-(α))があります。(α)はアンドロメダ座の頭になります。ハルセウスは、蟹の毛がヘビの怪物、メドゥーサを退治しました。その時、その血の中から生まれたのがペガサスです。このペガサスのおかげで、無事に帰ろうとした時、途中でいけにえにされていたアンドロメダ姫を助ける事ができました。その後ペガサスは、ペレルフォーンという若者を乗せ、頭がライオン、胴はやぎ、尾は蛇というキメラを退治しましたが、自分の力を過信して、天へ昇ろうとしました。これを見て怒ったゼウスが、ペガサスのわき腹を一匹のアブを使い、刺しました。驚いたペガサスはペレルフォーンを振り落とし、そのまま天に昇って、星座になりました。おどろくべき話には多いですね。

KUN*

インホメーション

- ★今秋の熊本市博物館のプラネタリウムに、運営委員の中島先生、吉田さん、甲斐さん、古田さんの3人が出演されることになりました。題名は「星雲・星団の世界」で、9月9日から12月3日まで上映中です。
- ★学生時代に、天文台の運営委員をやっていた芳野浩之さん（25歳、独身）が、仕事の関係で熊本に戻ってこられ、運営委員に復帰されました。担当は水曜日です。
- ★熊本大学天文研究会が、天文台で、8月11、12日にペルセウス座流星群の流星観測を行いました。簡単ですが、結果を報告します。

時刻	24:00	25:00	26:00	27:00	28:00	計
群 の 数	23日	20	15	33	36	104
	24日	29	72	84	72	257

編集後記

星屑編集局内での手違いで、8月も終わり頃になって、あわてて今月号を作るというはめになってしまいました。それで、G. P. Xさんをはじめ、多くの方々のご協力のおかげで無事発行することができました。とくに、吉田さんと松崎さんには、無理をいって記事を書いてもらいまして、本当にありがとうございました。
(ETO)

熊本県民天文台機関誌「星屑」 1989年 8月号 通巻 174号

発行所 熊本県民天文台 〒861-42 熊本県下益城郡城南町藤山

TEL 0964-28-6060

熊本県民天文台事務局 〒860 熊本市古京町3番2号 熊本市博物館内

TEL 096-324-3500

振替口座 熊本8-24463

熊本県民天文台事務局

編集担当 江藤 直